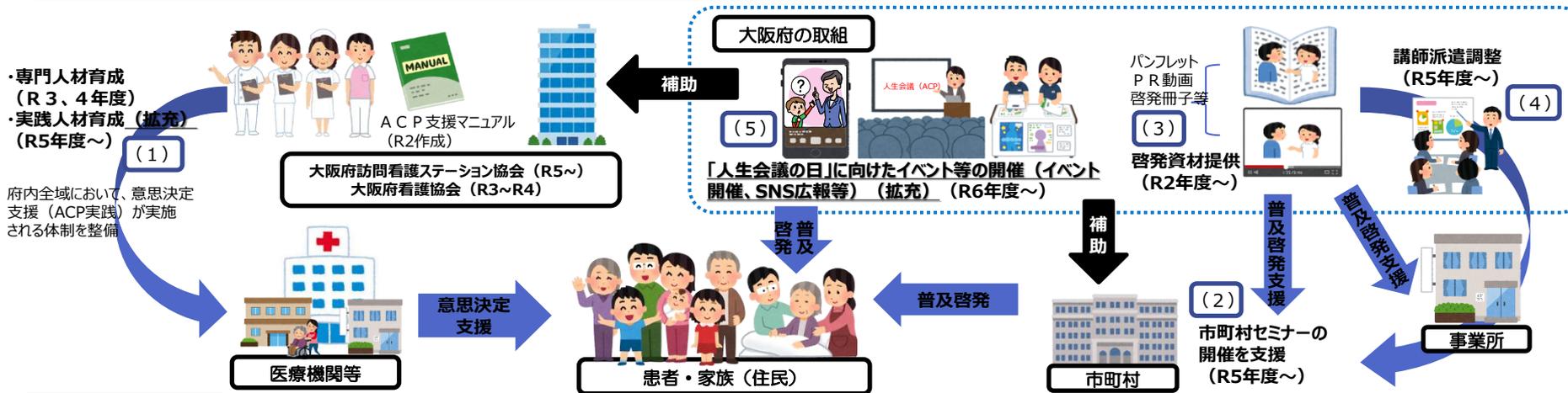


大阪府では、ACPの重要性に鑑み、令和5年度に『いのち輝く人生のため「人生会議」を推進する条例』を施行し、より一層の人生会議の普及啓発と実践につなげる取組を実施している。一方、R5年度に実施した人生会議に関する認知度調査では、人生会議を知っていた方が11.1%と府民の関心の低さが明確となった。

この調査を踏まえ、第8次医療計画においては、人生会議に関する認知度を計画期間中に20%とする目標値を掲げ、令和6年度からはSNSを活用した動画広告の配信や、11月30日の「人生会議の日」に府民公開講座を実施するなど、新たな普及啓発に取組んだ。

また、昨年度に引き続き、条例を踏まえ、市町村等が行う住民向けセミナー等の開催支援や、啓発資材を活用した事業者や福祉、教育関係機関への普及啓発に進めるとともに、医療・ケアの現場で患者や利用者からの相談を応需し、助言等を行う「実践人材」を育成し、人生会議(ACP)についてより一層の普及促進を図った。

R7年度は既存の取組に加え、府民参加型のイベントなど、府としての「人生会議」の普及啓発に関する取組をさらに推進していく。



## 事業概要

- ACP支援実践人材育成事業 (大阪府訪問看護ステーション協会への補助事業)  
主に在宅医療の現場において患者へのACP支援を実践できる人材を育成するため、研修を実施  
令和7年度は研修に携わるファシリテーターの体制を強化  
予算要求額… 6,993千円【拡充】
- 市町村が行うセミナー等の開催支援 (講師等の調整、啓発資材の提供、開催費用の補助 (講師謝礼、旅費、会場費等))  
予算要求額… 3,600千円 ※10市町村程度想定
- 啓発資材の配布による府民全体のACP実践を推進 予算要求額… 4,228千円
- 事業者主催の職場研修への講師調整等業務 (講師等の調整、啓発資材の提供等) 予算要求額… 786千円
- 「人生会議の日」に向けた府民参加型のイベント、SNS動画広告配信等の普及啓発を実施  
予算要求額… 12,170千円【拡充】

# 高齢者救急に関する取組（心肺停止患者にかかる救急隊の不搬送等の取組）

参考

## <各圏域における救急隊の不搬送に関する取組>

	取組状況		取組状況
豊能	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ACPに基づいた救急現場での心肺蘇生等の対応プロトコル」を作成。地域救急MC協議会で承認、R6年10月から運用開始。</li> <li>○豊能地域の心機能停止傷病者のうちプロトコル適応となる傷病者は年間数人との概算であり、検証を行いながら運用。</li> <li>○パンフレットとプロトコル表を関係機関に配布し周知。</li> </ul>	堺市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本臨床救急医学会からの提言（具体的指示をかかりつけ医等から直接確認できれば、その指示に基づいて心肺蘇生等を中止する）に基づき、事案に応じて心肺蘇生の中止・不搬送とする運用を実施。（実際の運用はなし。）</li> </ul>
北河内	<ul style="list-style-type: none"> <li>○枚方寝屋川消防組合において具体的なガイドライン（フローチャート、同意書等）を作成、北河内地域救急MC協議会にて承認。</li> <li>○モデル地区（枚方、寝屋川）で試行運用開始（R6年7月～）。その後、圏域全体で施行運用し、本格運用予定。</li> <li>○モデル地区以外でも試行運用の内容を説明し、圏域全体での運用開始に向けて周知・理解促進を進めている。</li> </ul>	大阪市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一部高齢者施設に限って、DNARの指示書がある場合に心肺蘇生の中止・不搬送とする運用を実施中。</li> </ul>

※三島／中河内／南河内／泉州は圏域独自の活動プロトコルを定めておらず、府が作成するプロトコルをもとに取り組み予定。

○取組にあたっての課題：本来は119番通報されることなく、ACPに基づく意思表示がなされた上で、かかりつけ医や訪問看護師等による対応で看取りが行われるべきであり、ACPの普及推進が必要。

## <府の取組>

人生会議（ACP）に基づく心肺蘇生等を望まない心肺停止傷病者に対する救急隊の基本活動プロトコルの作成について検討中。

